【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公開番号】特開2005-225573(P2005-225573A)
【公開日】平成17年8月25日(2005.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2005-033
【出願番号】特願2004-32915(P2004-32915)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　9/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　9/00　Ｂ
Ｇ０３Ｇ　15/00　５１８
Ｇ０３Ｇ　21/00　３８４
Ｇ０３Ｇ　21/00　３７２

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月23日(2006.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
連続的に搬送される複数の転写紙の搬送を、反転して排紙する反転排紙の経路又は反転せずに排紙するストレート排紙の経路或いは両面印刷経路に切り換える際、先行する転写紙である先行紙が有し、紙情報を蓄積し、後行する転写紙である後行紙は先行紙の紙情報を基にレジスト待ちを行う画像形成装置において、
先行紙のレジスト通過時点で先行紙の紙情報をセットし、後行紙のレジストスタートを制御するタイマに先行紙のレジスト通過時間をリセットし、当該タイマをスタートさせてタイムアップ時点で後行紙のレジスト待ちを解除することを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記紙情報は、転写紙のサイズ、転写紙の副走査方向の長さ、反転排紙又はストレート排紙を示す情報である請求項１記載の画像形成装置。
【請求項３】
転写紙に後処理機能を施す場合、後処理機能を要する後処理時間と、先行紙のレジスト通過時間と後行紙の反転排紙に要する時間を加算した加算時間とを比較して、後処理時間が加算時間より大きい場合は後処理時間と加算時間の差分時間を前記タイマにセットし、後処理時間が加算時間より小さい場合は即レジスト待ちを解除する請求項１又は２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
転写紙に後処理機能を施して更に排紙先を切り換える場合、後処理機能を要する後処理時間と排紙先切換に要する排紙先切換時間を加算した第１の加算時間と、先行紙のレジスト通過時間と後行紙の反転排紙に要する時間を加算した第２の加算時間とを比較して、第１の加算時間が第２の加算時間より大きい場合は第１の加算時間と第２の加算時間の差分時間を前記タイマにセットし、第１の加算時間が第２の加算時間より小さい場合は即レジ

スト待ちを解除する請求項１又は２に記載の画像形成装置。
【請求項５】
先行紙が両面印刷経路に搬送されるときは、先行紙のレジスト通過時点では先行紙の紙情報をセットしない請求項１又は２に記載の画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
前記問題点を解決するために、本発明の画像形成装置は、連続的に搬送される複数の転写紙の搬送を、反転して排紙する反転排紙の経路又は反転せずに排紙するストレート排紙の経路或いは両面印刷経路に切り換える際、先行する転写紙である先行紙が有し、紙情報を蓄積し、後行する転写紙である後行紙は先行紙の紙情報を基にレジスト待ちを行う。更に、本発明の画像形成装置によれば、先行紙のレジスト通過時点で先行紙の紙情報をセットし、後行紙のレジストスタートを制御するタイマに先行紙のレジスト通過時間をリセットし、当該タイマをスタートさせてタイムアップ時点で後行紙のレジスト待ちを解除することに特徴がある。よって、先行紙のレジスト通過時点で先行紙の紙情報をセットし、追突防止に必要なタイマをスタートするので、どのような紙情報を持つ先行紙がレジスト通過後の経過時間を任意に検知することができ、適切な待ち時間を判断でき、無駄な待ち時間の発生を防止できる。なお、上記紙情報は、転写紙のサイズ、転写紙の副走査方向の長さ、反転排紙又はストレート排紙を示す情報である。